

こんにちは。お久しぶりです。オーストラリアに帰って来てからもう8ヶ月が過ぎました。時の流れの速さに本当に驚いています。こちらはだんだんと暑くなってきています。例年のように、今回は夏のクリスマスと新年です。

5月頃、工房の場所を見つけ、借りています。工房は現住まい近くの工業団地にある小さな所(80平米)です。1階は機械作業場で、2階は主に手仕事場です。仕事はまだ本格的に始めていませんが、準備の方はうまくいっています。最初は木材の事で結構苦勞しました。色んな木材業者に米ヒバについて聞きましたが、オーストラリアでは普通は手に入らず、あるとしても建築用ですから、質の面で建具に使えません。その上、オーストラリアの窓と日本の窓の作り方は違いますから、自分の家が木材と障子の入れ方の実験場になりました。

工房のための作業台と家具を作ってから、試してみました。窓の枠と障子の入れ方はOKでしたが、例の Queensland maple を使いました。とても安定している木材ですが、塗装しないと色はつまらないため、これは辞めました。

次はアガチス（ニュージーランドの木）という木材を使ってみました。とてもきれいな色合いとつやがありますが、アテの強い木のため、木材がどのように振る舞うか全く想像が付きません。板の切り方を考える上で、とても良い勉強になりました。追衿目として切らないと全てブーメランみたいに曲がってしまいます。ですから、無駄が多くなります。

やっと、安定して、満足できる木材を見つけました。ヒュオンパインという松の種類です。米ヒバに似ています（色は同じようで、香りもよく似ている）。問題は、厳しく保護されていて、タスマニア州にしかありません。その上、生きている木は伐採してはいけません。自然に倒れた木か、もう死んでしまっている木しか取れないとのこと。ですから、値段はモノスゴク高いです。

今、オーストラリアの全国の家具のコンクールに出品する作品が終わった所です。折りたたみ衝立です。展示作品に選ばれれば happy ですよ。

キング

■キングさん製作建具



製作前



製作後（枠は Tasmanian blackwood - アカシア属）



アガチスの障子と枠



キングさんとコンクールの作品（折りたたみ衝立）
（中央部分は麻の葉、胡麻殻と桜です。一番小さい部分
は5mm以下です。）